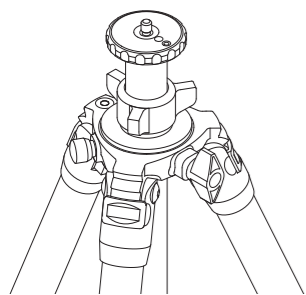
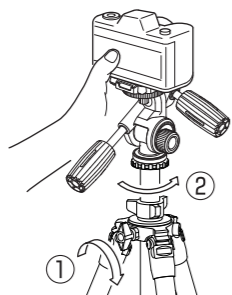


センターポール式エレベーターの使い方

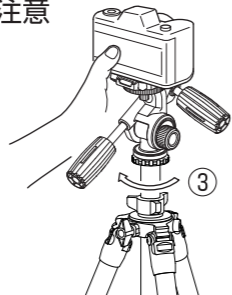


センターポール式エレベーターを使用すると、高さの微調整や高い位置からの撮影に便利です。



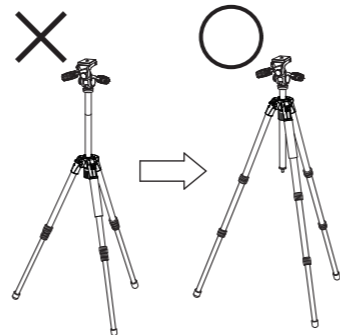
① 始めに、ベースロックノブがしっかり締まっていることを確認します。

注意



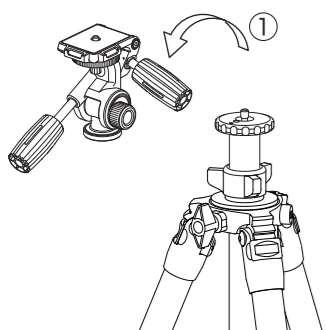
③ 位置が決まったら、エレベーターロックナットを矢印の方向に回して、固定してください。

注意：エレベーターの破損の原因となりますので、エレベーターロックナットは締めすぎないように注意してください。

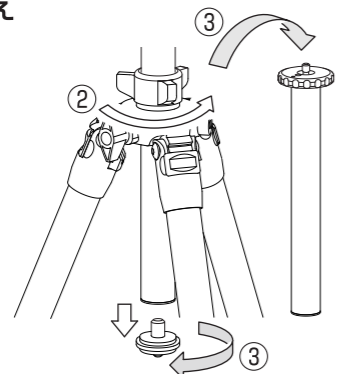


ブレ防止のため、エレベーターはなるべく短くしてご使用ください。また、脚は太いパイプを優先してお使いください。

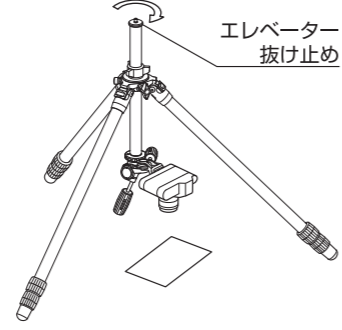
エレベーターの上下差しかえ



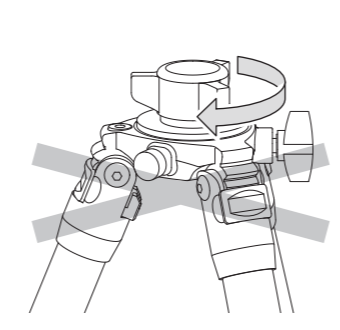
① エレベーターの上下差しかえのときは、必ず雲台をはずしてから行ってください。



② エレベーターロックナットをゆるめます。

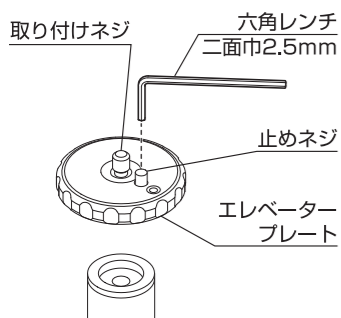


③ エレベーター抜け止めを外し、エレベーターをぬきとります。

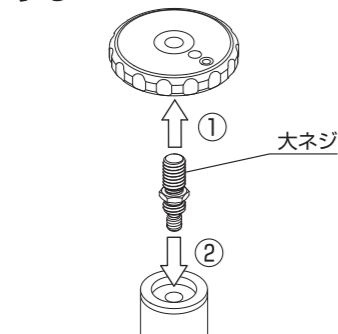


エレベーターを抜き取ったまま、エレベーターロックナットを操作しないでください。内部の部品が破損します。

雲台取り付けネジを大ネジにする



センターポール式エレベーターをU3/8の大ネジにしたいときは、付属の六角レンチ(二面巾2.5mm)で止めネジをゆるめてからエレベータープレートを反時計まわりに回してはずします。



① 取り付けネジを反転させてからエレベータープレートにねじ込みます。

② エレベーターにねじ込み、最後に止めネジを締め付けてください。

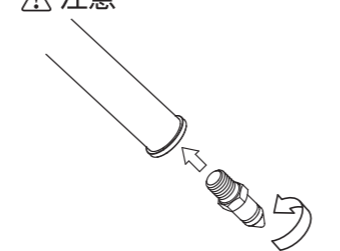
石突の交換

注意



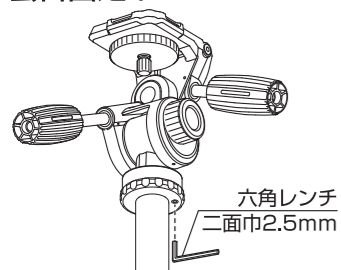
ゴム石突を取り外して、スパイク石突と交換することができます。脚パイプをしっかりと握り、ゴム石突をゆるめてはずします。この時、最下段の脚パイプ以外を持って行くと、脚パイプが破損する恐れがあります。

注意



最初に付属のスパイク石突を止まるまで指でねじ込みます。最後に付属のスパナで止まるまでねじ込んでください。注意：最下段の脚パイプ以外を持って行くと、脚パイプが破損する恐れがあります。また、付属以外のスパナを使用すると脚パイプが破損する恐れがあります。

雲台固定ネジ



フィールドスコープや望遠レンズなど重い機材を載せて使用する場合は、雲台と三脚がゆるまないように、雲台固定ネジを使用してください。

アクセサリホール



本体側面のアクセサリホールには、U1/4" (ダブルネジアダプターを外すとU3/8")ネジで、アクセサリ等を取り付けることができます。

禁止



●三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補充は絶対にしないでください。破損、故障の原因となります。可動部の動きが悪くなってきた場合は、お買い求めの販売店またはアフターサービスへご依頼ください。

●火に近づけないようにしてください。夏など高温になる車内などに長時間放置しないでください。

お手入れ

●よごれたときには、中性洗剤をやわらかな布につけてふいてください。その後、きれいな乾いた布でふいてください。

本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を目安に保有しております。したがって本期間中は修理をお受けいたします。

インターネット・ホームページ <http://www.slik.co.jp/>

※改良のため、お断りなくデザイン、仕様を変更することがありますのでご了承ください。©2019 SLIK CORPORATION

SLIK®

システムカーボンシリーズ

取扱説明書

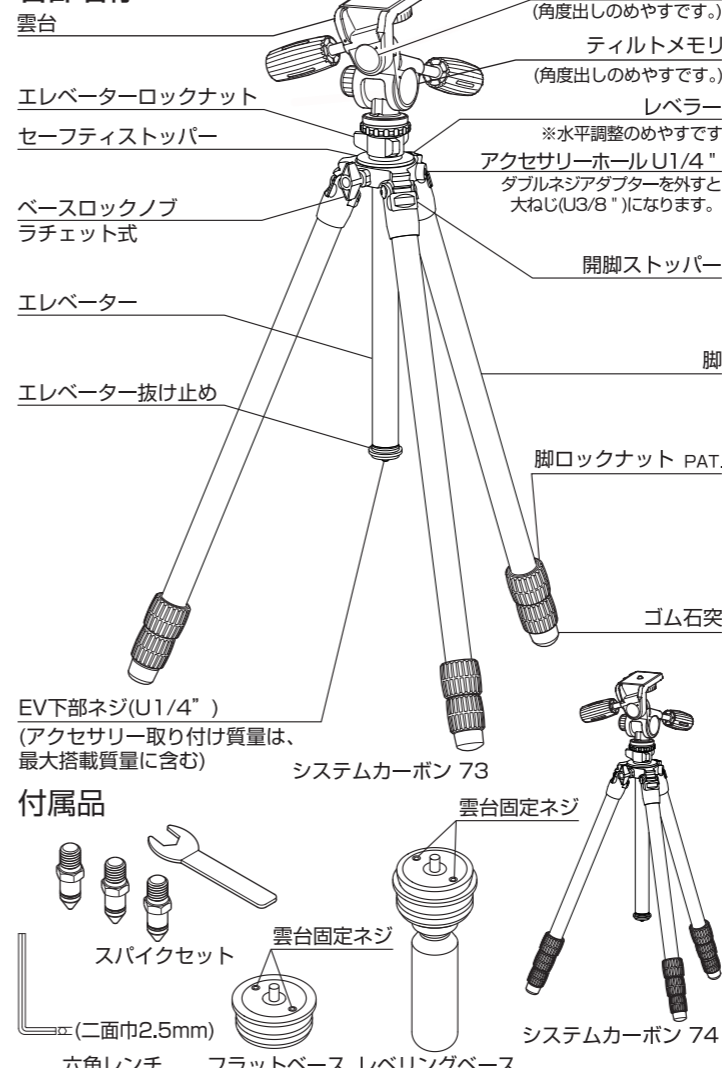
このたびは、スリック製品をお買い求めいただきありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき正しく、十分に性能を生かしてお使いください。お読みになったあとは必ず保管し、わからないときには再読してください。脚のみをお買い上げの方は [三脚部] の説明を中心にお読みください。

注意 このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

禁止 このマークは禁止 (してはいけないこと) 内容です。説明にしたがい事故のないようお使いください。

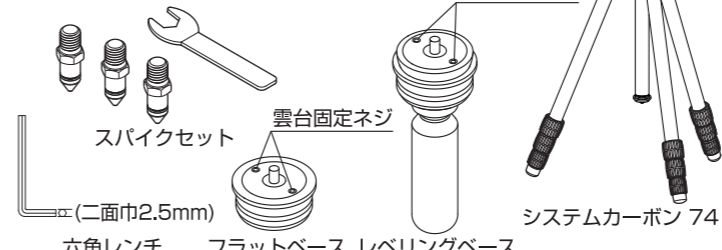
三脚ケース付

各部名称



EV下部ネジ(U1/4") (アクセサリ取り付け質量は、最大搭載質量に含む)

付属品



搭載する機材

禁止

最大搭載質量	
システムカーボン 73	: 5kg
システムカーボン 74	: 5kg
システムカーボン 73 WOH	: 7kg
システムカーボン 74 WOH	: 7kg

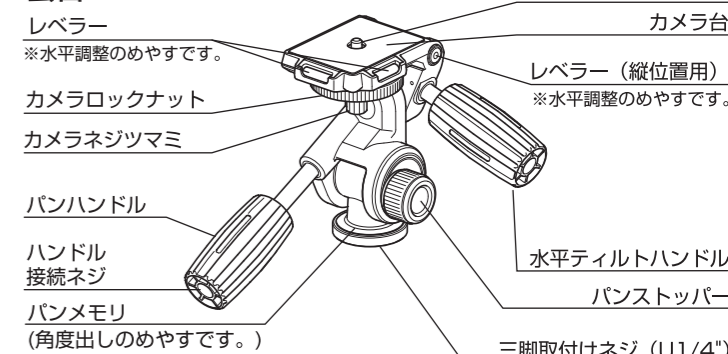
これ以上の機材は載せないでください。また、上記搭載質量以下のものであっても重心位置によりバランスの取りにくいものもあります。そのようなときは、上のクラスの三脚をお使いください。

衝撃のあったとき

注意

三脚が転倒するなど衝撃が加わった場合は、パイプにひび割れが入っていないか確認してください。傷、割れ等が見つかった場合はただちに使用を中止し修理を依頼してください。カーボン繊維が出ている場合はケガをする恐れがあります。直接触れないようご注意ください。

雲台



禁止

パンハンドルだけを持って、三脚を持ち上げないでください。

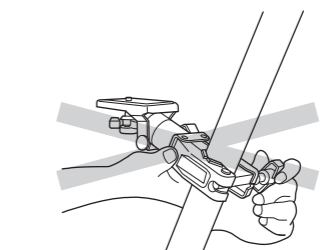
※三脚用のレベラーは水平調整のめやすです。カメラ内蔵のレベラーとは精度が異なります。

仕様

	フラットベース	レベリングベース	センターポール式エレベーター
システムカーボン 73			
縮長	700 mm	705 mm	725 mm
全高	1,465 mm	1,470 mm	1,765 mm
EVスライド			270 mm
質量	1,770 g	1,895 g	1,910 g
システムカーボン 74			
縮長	600 mm	605 mm	625 mm
全高	1,470 mm	1,475 mm	1,770 mm
EVスライド			270 mm
質量	1,830 g	1,955 g	1,970 g
システムカーボン 73 WOH			
縮長	575 mm	580 mm	600 mm
全高	1,335 mm	1,340 mm	1,635 mm
EVスライド			270 mm
質量	1,095 g	1,220 g	1,235 g
システムカーボン 74 WOH			
縮長	475 mm	480 mm	500 mm
全高	1,340 mm	1,345 mm	1,640 mm
EVスライド			270 mm
質量	1,155 g	1,280 g	1,295 g

クランプヘッド

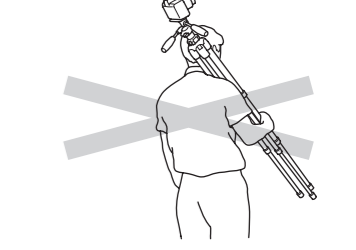
禁止



別売のクランプヘッドはカーボン三脚には使用しないでください。パイプが破損し危険です。

持ち運びのとき

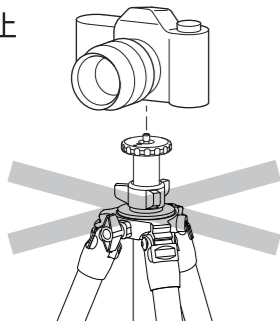
禁止



カメラは三脚から外して持ち運んでください。カメラの落下、使用者や周囲の人へのケガ、物損等を起こす可能性があります。

雲台取り付けネジ

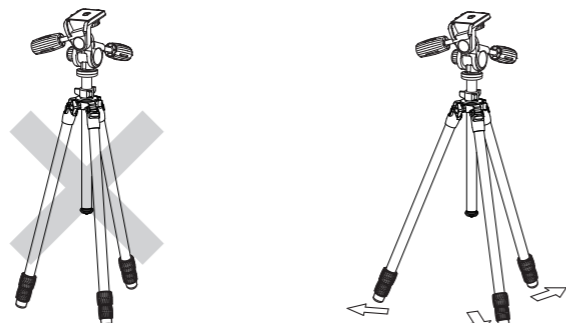
⊘ 禁止



カメラを直接エレベーターやレベリングベース、フラットベースに取り付けることは故障の原因になります。雲台などを介してお取り付けください。

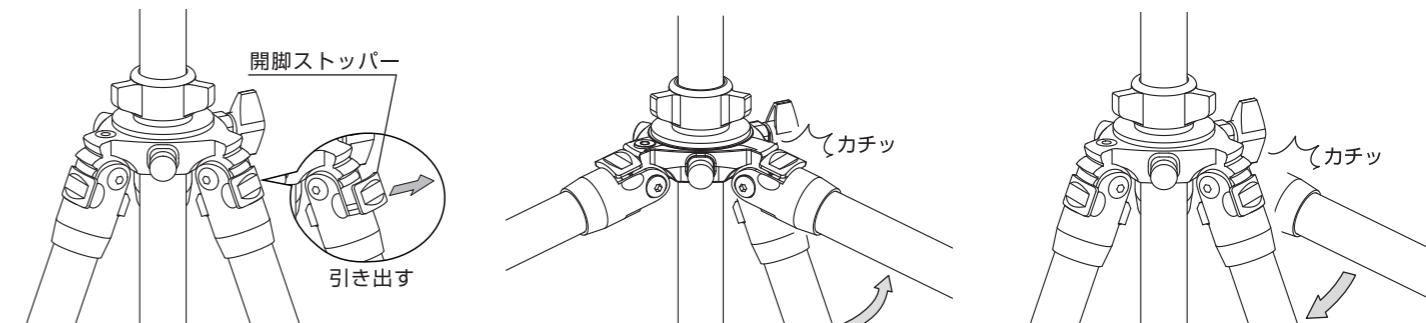
機材の取り付けとセットアップ

⚠ 注意



カメラの取り付け、ハンドル、ツマミ、レバー類のロックは確実に行って、落下や転倒を防いでください。また、三本の脚を十分に開いてください。脚の開きが不十分だと、不安定でカメラブレや転倒の原因になります。

三脚部 開脚角を変える (セミオートラチェット機構)

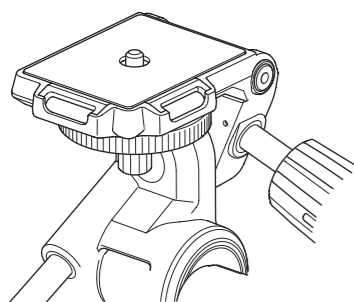


標準の開き位置から脚を少し閉じてから、開脚ストッパーを止まるまで引き出します。

脚をゆっくり引き上げていくと、開脚ストッパーがカチッと鳴ります。さらに脚を止まるまで引き上げた所がローポジションです。

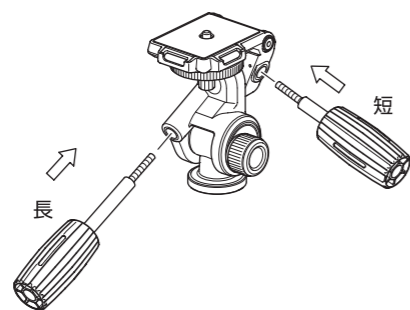
さらに脚を閉じていくことで、ミドルポジション、標準開脚の順に調整することができます。

雲台部 レベラー



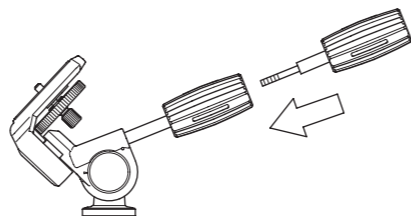
カメラ台のレベラーを使用すると、水平出しの目安とすることができます。

パンハンドルの取り付け



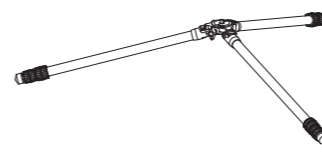
雲台に2本のハンドルを取り付けます。パンハンドル(長)を左、水平ティルトハンドル(短)を右に取り付けてください。

収納



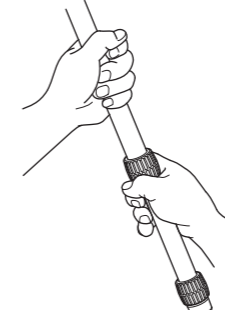
水平ティルトハンドルをはずし、パンハンドル後部のハンドル接続ネジにねじ込んでください。コンパクトに収納できます。

ローポジション



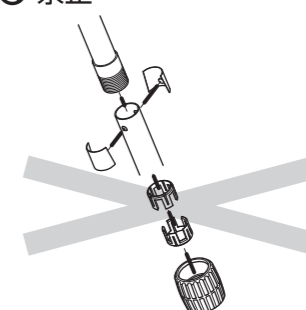
ローポジションにすると、より地面に近い位置からの撮影が可能です。

脚の伸縮



脚ロックナットをゆるめると、脚は伸縮します。位置が決まったら、しっかりと脚ロックナットを締めつけてください。

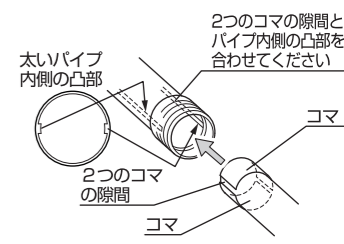
⊘ 禁止



ナットを外して分解することは事故の原因になるので、なるべくしないでください。外したときは図のように正しく組みこんでください。

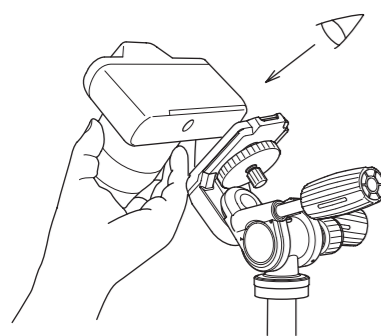
⚠ 注意

万が一分解したときは図を参考に位置を合わせて組み立ててください。

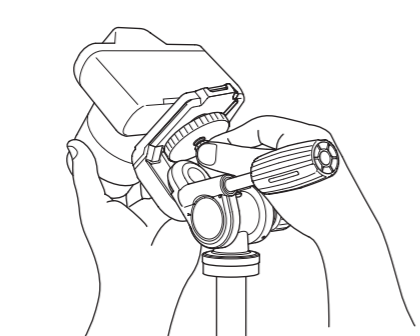


パイプを差し込むときは、2つのコマの隙間とパイプの内側の凸部を合わせてください。確実な組み立てが難しい場合は、お買い求めの販売店またはアフターサービスへご依頼ください。(無料修理保証の対象外です。)

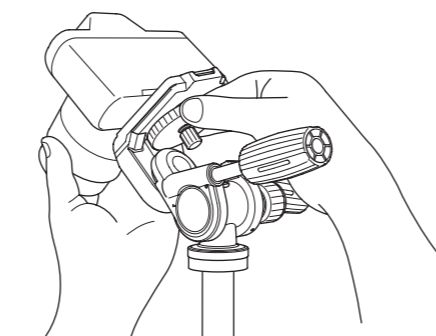
カメラの取り付け



ハンドルを操作して、図示の様にカメラ台の手元をあげると、ネジ部が見えて取り付けやすくなります。

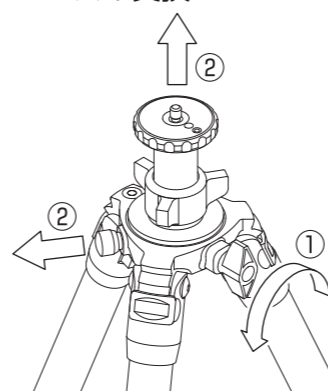


カメラをしっかり支えながら下側のカメラネジツマミでカメラネジを、ねじ込みます。

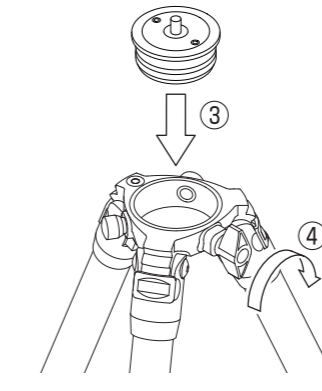


次に上側のカメラロックナットで、しっかりと締め込みます。

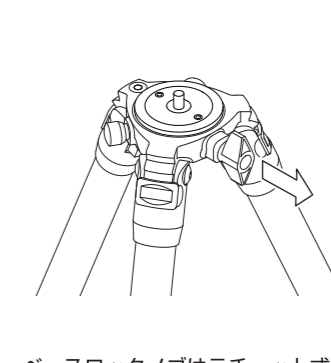
ベースの交換



ベースを交換するときは、
① ベースロックノブをゆるめます。
② セーフティノブを引きながら、ベースを真上に抜き取ります。

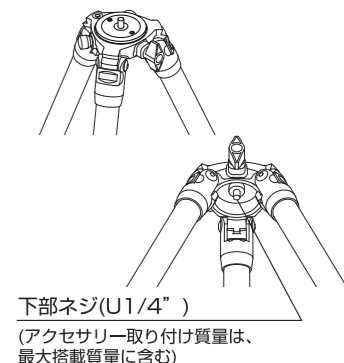


③ 交換するベースを上からまっすぐ入れます。
④ 最後にベースロックノブをしっかりと締め付けて固定してください。



ベースロックノブはラチェット式になっております。雲台やカメラ等と干渉する場合は、レバーを矢印の方向へひっぱると、60度づつレバーの位置をずらすことができます。

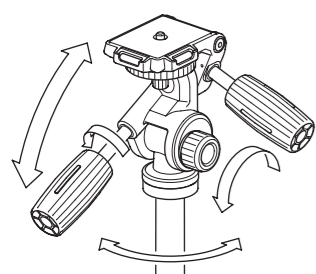
フラットベース



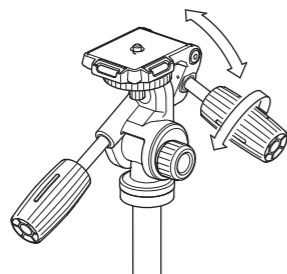
下部ネジ(U1/4")
(アクセサリ取り付け質量は、最大搭載質量に含む)

フラットベースを使用すると、ローポジションでの撮影や機材を軽くしたい場合に便利です。また、裏側にU1/4"ネジを装備しており、別売のエレベーターフック2などを取り付けできます。

雲台の使い方

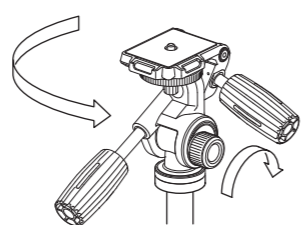


パンハンドルをゆるめると、前後にティルトできます。パンストッパーをゆるめると、水平に回転できます。



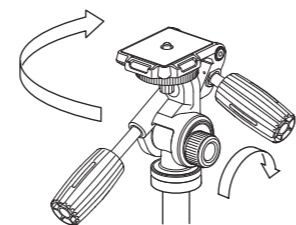
水平ティルトハンドルをゆるめると、水平調節ができます。

雲台の取り外し



始めに、三脚のエレベーターストッパーとエレベーターロックナットを締め込みます。次に、雲台のパンストッパーをしっかり締め込み、2つのハンドルを握って力強く反時計まわりに雲台をまわします。これで雲台がゆるみます。

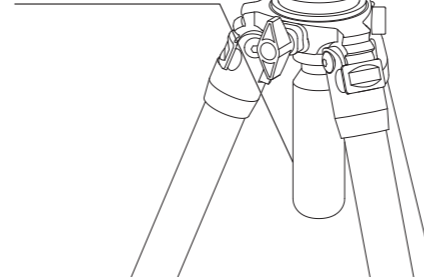
雲台の取り付け



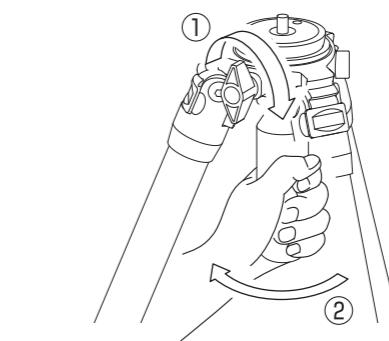
雲台と三脚のネジを合わせて、雲台を時計まわりに止まるまで回します。パンストッパーをきつく締めて、さらに時計まわりにネジ込みます。パンストッパーをゆるめると通常にパンニングできます。

レベリングベース

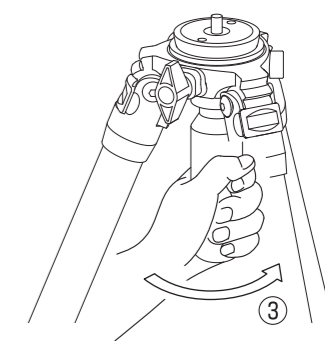
レベリングロックノブ



レベリングベースを使用すると、動画撮影や風景写真の撮影時に、機材の水平出しをする場合に便利です。



① 始めに、ベースロックノブがしっかりと締まっていることを確認します。
② レベリングロックノブを矢印の方向へ回すとレベリングベースが可動します。



③ 位置が決まったら、レベリングロックノブを矢印の方向へ回してください。これでレベリングベースの位置が固定されます。